

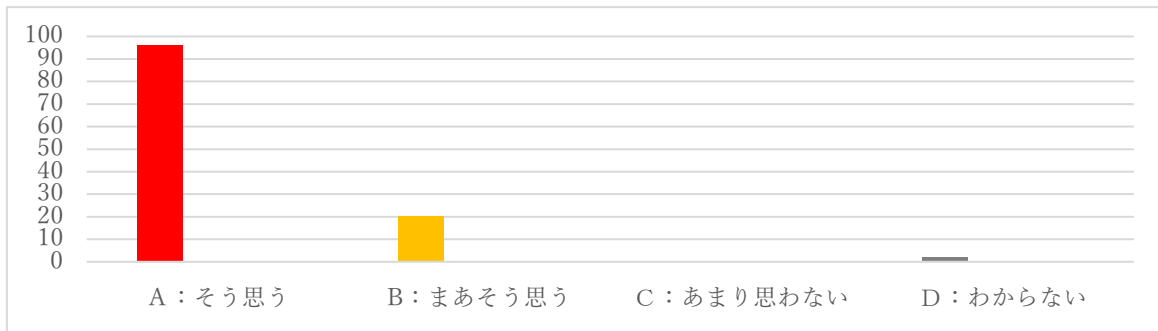
【幼児 園教育・保育アンケート まとめ】

令和5年度

アンケートへのご協力、ありがとうございました。今年度は、保育内容の改善を中心に進めてまいりました。保護者の皆様には、多大なるご理解とご協力により支えていただき、ありがとうございます。皆さまから頂いた結果を、ご報告させていただきます。未来ある子ども達のために、本当の意味での「子ども自身で伸びていく力を伸ばす質の高い保育・教育への転換」を目指し、今後も努めて参りますので、宜しく願い申し上げます。

保育啓発

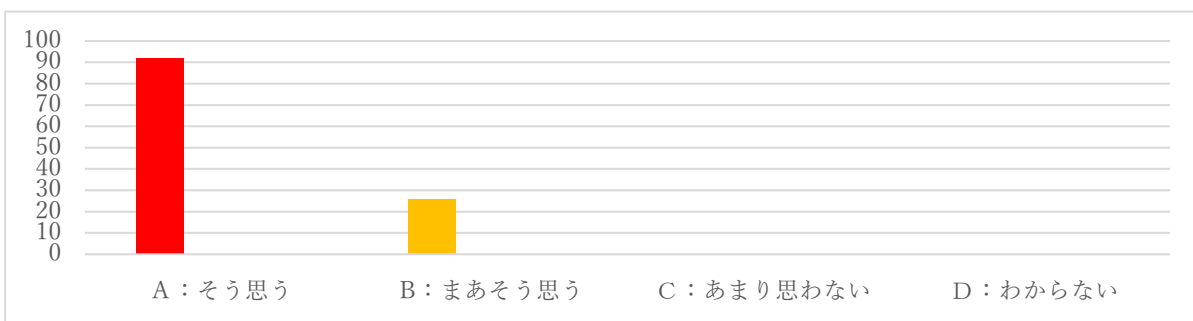
1. 行事(運動会・音楽会)・参観・動画視聴(エントランスのスライドショー等)などにより保育内容等の啓発をしている [A:96,B:20,C:0,D:2]



(次年度に向けて)

- ・1 年間を通して、子どもたちの園での活動を知っていただけるよう、エントランスのスライドショーで活動の様子を流したり、参観、行事などにご参加いただいたりする中で、保護者の方々とお子様の成長や保育内容についてのお話しを、ご理解をいただけるよう努めて参りました。今後も、いろいろな場面で、お子様の成長と共に保育内容についてのご理解をいただけるよう、創意工夫を凝らし努めて参ります。よろしくお願い致します。

2. 懇談・掲示物(遊びや行事の様子のポートフォリオ)・園だより(今月のクラスの様子)などを通して、子ども達の様子や日々の活動について伝えている [A:92,B:26,C:0,D:0]

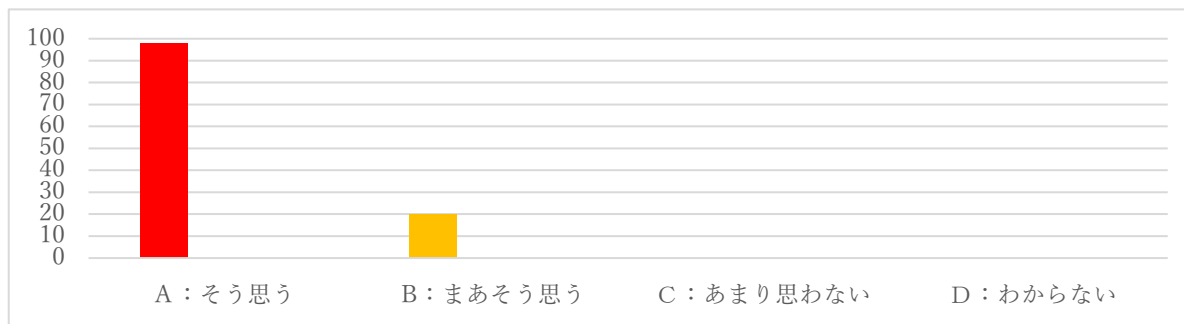


(次年度に向けて)

- ・降園時の様子をうかがっていると、親子で動画や掲示している写真を見て楽しそうに話をされている姿を目にし、大変嬉しく思っています。次年度も、保育に支障をきたさない程度に可能な限り、お子様の普段の遊びや生活の様子などについて、随時お知らせしていきます。

3. 参観や懇談、行事等で、お子さんの普段の様子や育ちを知ることができる

[A:98,B:20,C:0,D:0]

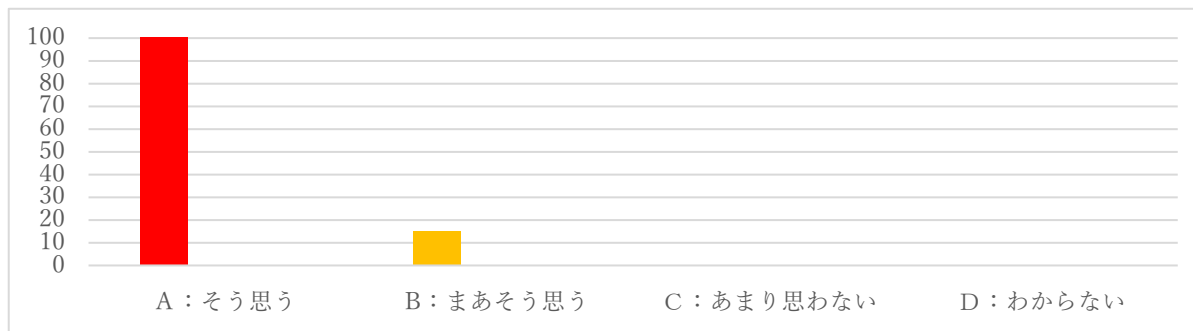


(次年度に向けて)

・参観後の懇談会では、担任保育教諭から子どもたちを育てていきたい方向やクラスの子どもの育ちなどについてお話をさせていただいてきました。「この間、子どもが話をしていたことがよくわかりました」などのお言葉をいただくこともあり、保護者の皆様にご理解いただけていること、大変嬉しく思っています。具体的なお子様の様子を見ていただきお話をさせていただくことは、私たちがどのようにお子様を育てていきたいかをご理解いただける、良い機会であると思っています。次年度も、ただ、毎日をお子様と過ごしているのではなく、しっかりとした育ちの見取りとねらいを持ち保育をしていることがご理解いただけるよう、尽くしてまいりたいと思っています。

保育内容

4. お子さんは、遊びやクラス活動などの園生活を楽しんでいる [A:103,B:15,C:0,D:0]



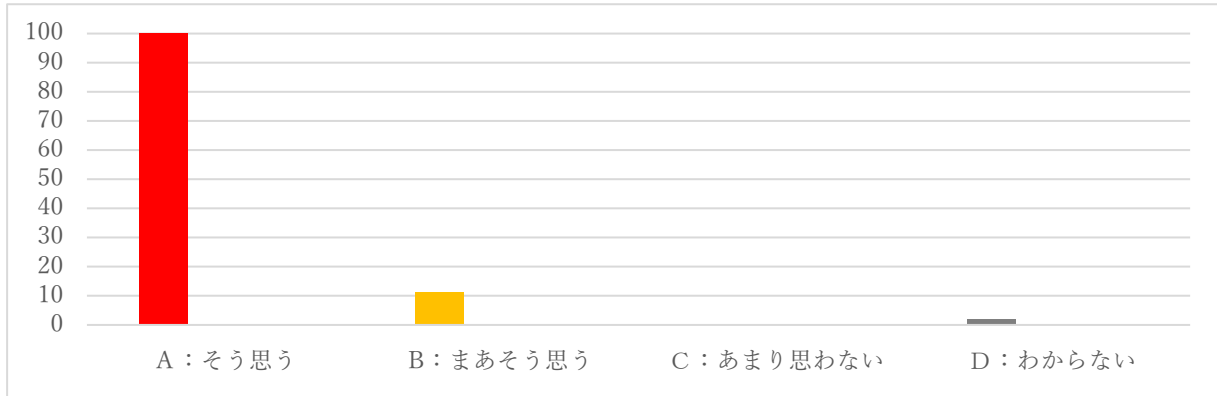
(次年度に向けて)

・昨年度に続き、子ども達が「したい」「もっとしたい」という気持ちを持ち、自分から環境にかかわり遊びや活動を楽しむことができるよう、各クラス工夫を行い取り組んでまいりました。子どもたちは、自分のしたいことを伝え、クラスの仲間と共に考え進めることが少しずつ「楽しい！」と感じ遊ぶことができるようになってきています。次年度も、子ども達が自分で考え楽しみながら、毎日の生活や遊びを進められる園となりますよう意識し取り組んでまいります。

環境構成

5. 遊びや生活が楽しくなるように、子ども自身が自ら考えつくり出せるような環境構成(したいという気持ちを持つような遊びや活動の準備)及び教育を行おうとしている

[A:104,B:11,C:0,D:2]

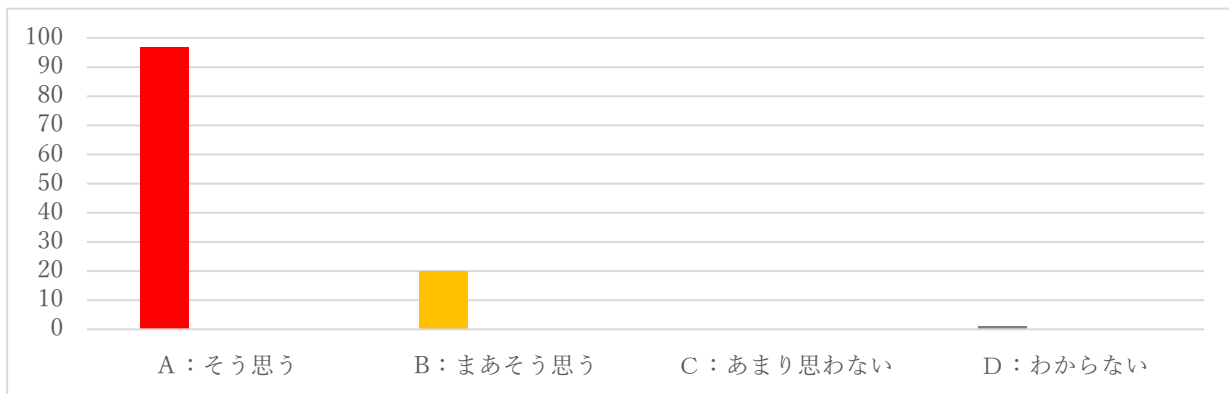


(次年度に向けて)

・昨年度に続き、「子ども自ら遊び、学び、育つことの出来る保育を創造し実現する」ことを目指し、子ども達の興味や育ちに合った環境を準備し、より豊かな経験ができるように遊べるように取り組んでまいりました。子どもたちの側からは、「こんなことしたい」がたくさん出されるようになり、具体的にどのようなものが必要かについても、担任保育教諭やクラスの友達と話し合いを重ねながら、準備し遊べるようになってきています。次年度も、お子様お一人おひとりの育ち、クラス全体としての高まりを意識しながら、改善を重ね進めてまいります。

表現力

6. 様々な経験や体験の中で、コミュニケーション力(先生や友達とのやり取り等)や表現力(絵画、身体表現等)身に付け、心が豊かに育つようにしている [A:97,B:20,C:0,D:1]



(次年度に向けて)

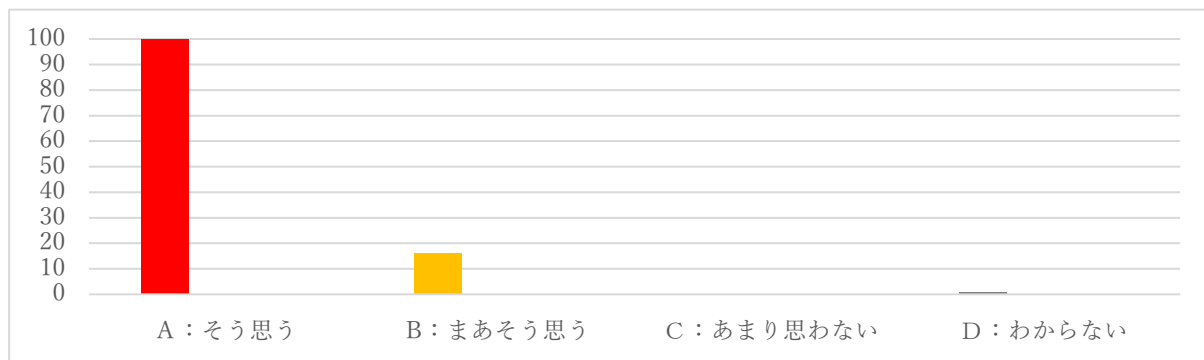
・私たちは、園生活の中の様々な遊びや体験を通して、「気付いたことや、出来るようになったことなどを子どもたちが実際にやってみる中で、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする」

力を育もうと意識し、取り組んでいます。昨年度の引き続き、近隣園の主催する収穫体験に計画的に参加したり、当グループにある介護施設、山城ぬくもりの里の方々と定期的に触れ合ったり、一緒にヒマワリを育てたりしてまいりました。時には手紙を書き、ヒマワリの育ち具合を山城ぬくもりの里よりメールで知らせていただくと、「いつ行く？」と友達や先生と相談したり、次の訪問を心待ちにしたりと、子どもたちの楽しみに思う気持ちを大切につなげながら、進めてまいりました。

園外の方々との触れ合い、「話をしたい」「話をすることが心地いいな」と感じることは、コミュニケーション力をつけるうえでとても大切なことです。次年度も、地域の方々をはじめ、高齢の方々や郵便局の方々とも触れ合い、人に認めてもらう喜びや嬉しさを十分に感じられるようにしていきたいと思えます。人とかかわりや様々な体験の中でコミュニケーション力や表現力を養いながら、自分の力で1歩を踏み出す原動力となる「自己肯定感や自尊感情」を育み、「表現したい」気持ちを更に高めていきます。

飼育栽培

7. 生き物(亀や金魚、バッタ、ダンゴムシ等)の飼育、栽培活動(夏野菜・さつまいも・パンジーなどの花)に取り組んでいる [A:100,B:16,C:0,D:1]

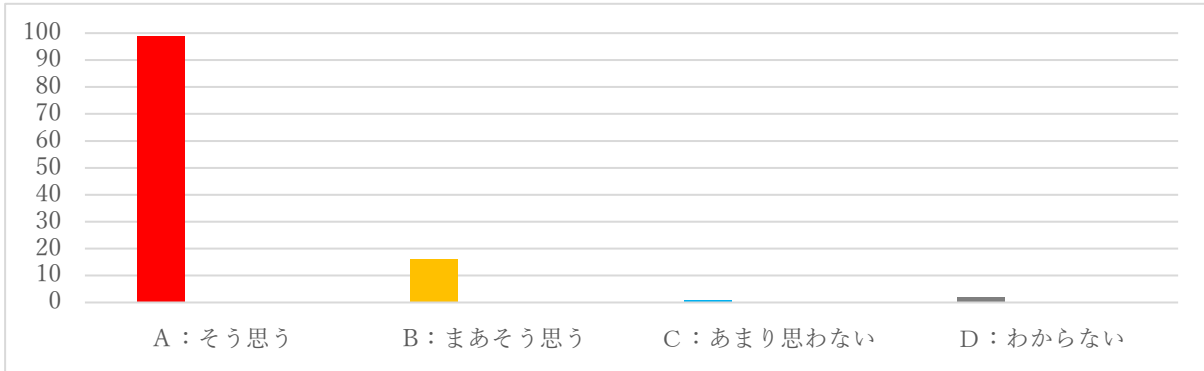


(次年度に向けて)

・昨年度に引き続き、生き物の飼育や栽培活動を経験する中で、子ども達は、情操面や道德面、奉仕の精神、勤労の喜びなどの「豊かな心やのちの命の教育へとつながる基盤」、のちの「キャリア教育へとつながる主体性や自主性」を、しっかりと身に付けられるようにと考え取り組んでまいりました。今年も、幼児組さんが隣の公園や山城ぬくもりの里、園内のビオトープ周辺で、たくさんの虫を捕まえ、飼育したり乳児さんに見せたりしていました。また、園の畑やプランターで育てた野菜を収穫し、みんなでいただく体験もしていました。このような生き物や栽培物と触れる経験は、子ども達に「豊かな感情や好奇心、思考力、表現の基礎」などを育むことができます。次年度も、エントランスの所や各クラスに、季節ごとの虫や生き物と出合える環境作りをしたり、「自分たちで育てたものを食す経験」を実施したりしながら取り組んでいきます。

食育

8. 食育活動(味噌作り、キュウリやさつま芋などの収穫物を使用した調理等)に取り組んでいる
〔A:99,B:16,C:1,D:2〕



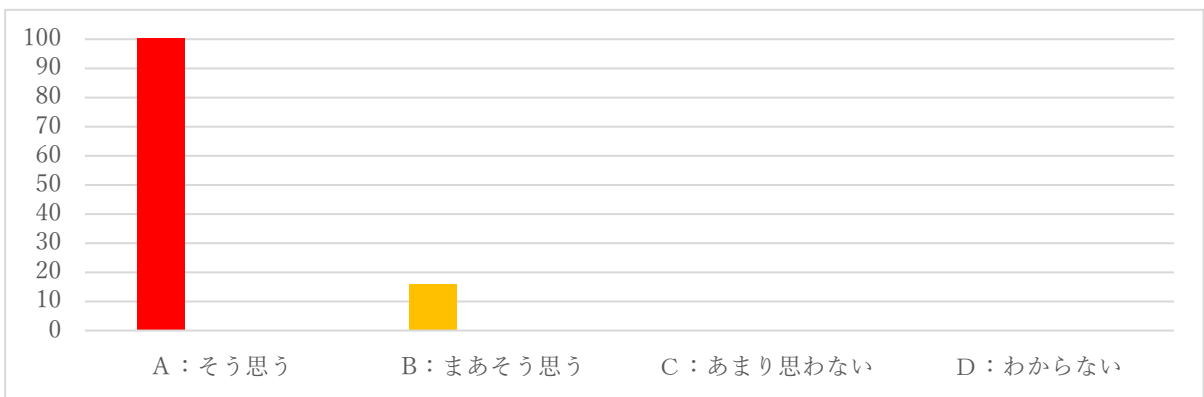
(次年度に向けて)

・昨年度に引き続き、「楽しく食べる心を育てる」ことを基本とし、取り組んでまいりました。厨房と連携をしながら、5歳児を中心に、味噌作りや栽培物の調理し食べるクッキング活動を行ってまいりました。ただ単に調理するのではなく、子どもたちの興味や関心をより高めるべく、栄養の話をしたり調理方法を考えたりと、楽しく食べるための準備を自分たちでしながら取り組んで参りました。

ランチルームで「わたがしやおにぎり、ポップコーン」等を食べる厨房主催の「おやつフェスティバル」は、子ども達が心待ちにするひとときです。このように次年度も、食べることが楽しめるような工夫を行いながら、食べ物と自分の健康とが繋がっていることについても、意識を高めていきます。

生活習慣

9. 基本的な生活習慣着替え、手洗い、食事、身の回りの整理整頓、挨拶等)を身につけられるようにしている 〔A:102,B:16,C:0,D:0〕



(次年度に向けて)

・基本的な生活習慣を身につける中で大切にしていることに、「何のためにするのか」という事を

理解し、行うことがあります。今年度も、ただ単に一日の流れとして行うのではなく、学年や個々の育ちに寄り添いながら、「心地よさや気持ちの良さ、必要性」等が感じられるよう、関わり進めてまいりました。次年度も、発達や時期に合わせながら、子ども達が生活習慣を身に付けることの必要性を理解し、自分の力で出来る喜びを感じられるようにしていきたいと思っています。

避難訓練

10. 災害時における適切な対応の仕方(火災、地震を想定した避難訓練、消防署との合同訓練)を経験できている [A:103,B:13,C:0,D:1]

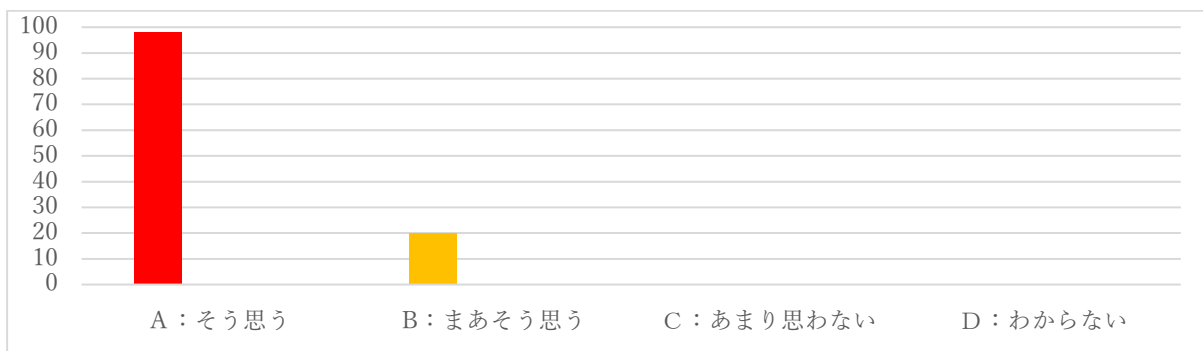


(次年度に向けて)

・昨年度に引き続き、火災、地震、地震からの火災、不審者などの訓練を毎月行ってきました。実際に園庭まで避難をしたり、活動時や好きな遊びの時間に突然訓練を行ったり、朝の支度や着替えの最中に放送を入れ訓練を行ったりしました。また、クラスで話を聞いたり、絵本などを見て話し合ったりもしています。このように、いろいろな事態を想定し訓練を行うことで、訓練がパターン化されたものではなく、状況に合わせて行動する力が身についていくと考えています。消防署との合同訓練では、消防署の所員さんに話を聞いたり、避難の仕方についての指導を受けたり、消防車や救急車についての話をさせていただいたりしています。子どもたちが煙を吸わないようにしたり、慌てず行動したりする姿を見て、お褒めの言葉をいただくことができ、嬉しく思っています。次年度も続けていきます。

規範意識

11. 園生活の決まり(出したものはもとの位置に戻す等)や集団での約束(順番を守る等)を守る教育をしている [A:98,B:20,C:0,D:0]



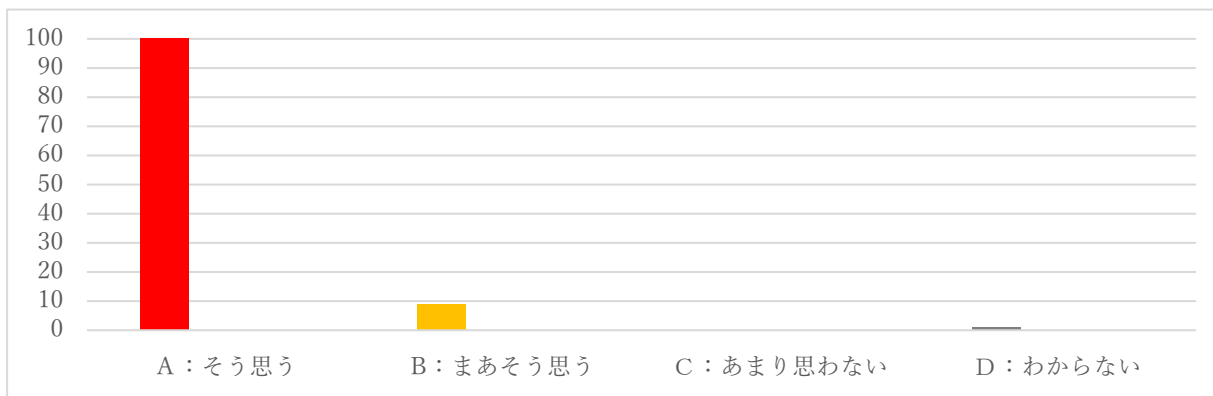
(次年度に向けて)

・集団の中では、みんなが心地よく過ごすための約束があります。約束を守らなかったり自分勝手な行動をしてしまったりすると、怪我をしたり友達とトラブルになったりすることがあります。しかし、何でもかんでも大人である先生が良し悪しをジャッジするのではなく、自分たちの生活は自分たちで決めて動く、守ることが大切であると考え、今年度も取り組んでまいりました。遊びや生活の中で起こる不都合や困り感とその都度向き合い、話し合いを繰り返しながら一緒に生活ができるようになってきています。そのなかで、自分たちで考え、話し合いをしようとする姿も見られるようになってきています。次年度も、大切に続けていきます。

行事

12. 運動会や作品展などのいろいろな行事を計画し、年間を通して経験できるようにしている

[A:108,B:9,C:0,D:1]



(次年度に向けて)

・朝の遊びやクラスでの活動、共通経験活動(遠足や行事等)は、一つひとつがバラバラのものではありません。子どもたちに身に付けたいことを見極め、つながりを意識し、子ども達と一緒に話し合い、考えながら進めることが大切です。このような流れの中、いろいろな経験を積み重ねることが、今言われている「主体性」「自分で考え後伸びする力」を育むことへとつながっていきます。

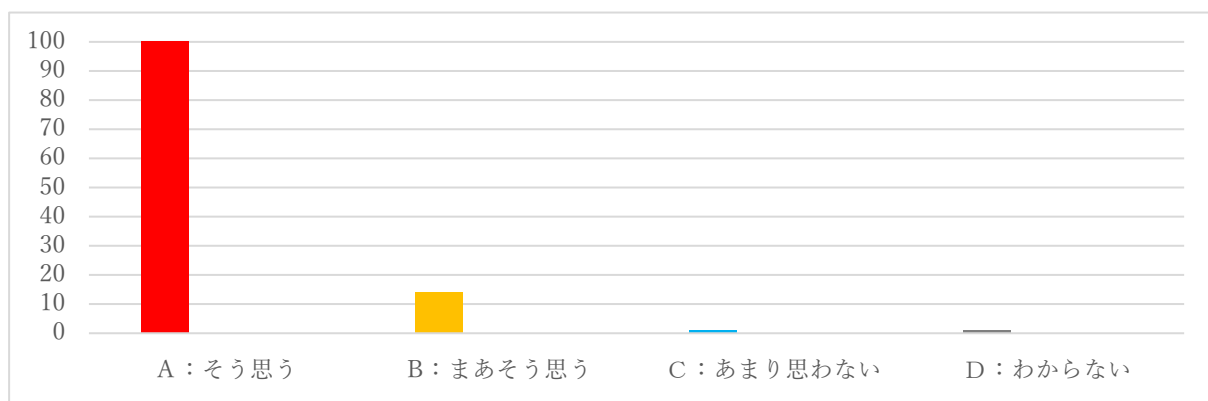
今年度は、「運動会」「作品展」で課内授業でなっている英語を組み入れ、遊びの中で広がっ

てきているいろいろな経験や体験とつなげながら作り上げていきました。自分たちの体験や経験をもとに、したいことを意思表示し生活や遊びの中に取り入れていくことが、子どもたちの更なる「したい」気持ちに繋がっていきます。次年度も、子どもたちの内なる溜め込みを活用できる流れを大切にしながら、「自信ややる気」へとつなげていきます。

異年齢交流

13. 遊びや行事の中で、他学年の友達、学童、高齢者等との関わりがもてるようにしている

[A:102,B:14,C:1,D:1]



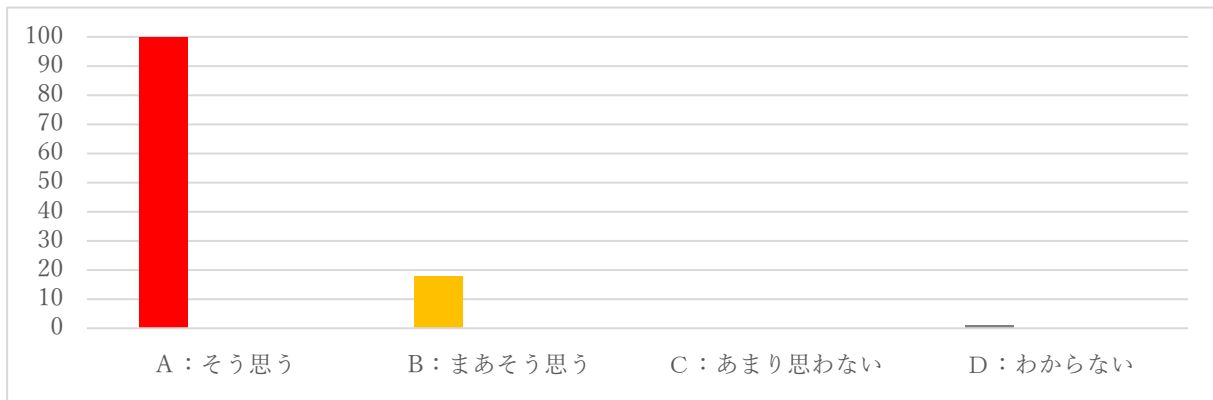
(次年度に向けて)

・異年齢交流は、年上へのあこがれや新たな意欲の芽生え、年下への思いやりや接し方の工夫などの力を育てます。今年度は1年間を通して遊びや行事の中で、互いにお客さんになったり、競技や踊りを教えてもらい一緒にしたりしてきました。また、ハロウィンやお化け屋敷等では、乳児さんにも楽しんでもらえるように考え、一緒に遊びました。学童の子ども達と5歳児とで、近くの公園に散歩に出かけ一緒に遊びました。また、定期的に山城ぬくもりの里や奈良の特別養護老人ホームに出かけ、いろいろな年齢層の方々と交流できるようにしました。子どもたちからも楽しみにする声が聞かれています。このような交流や触れ合いは、子ども達に「人への親しみ」「関わることの楽しさ」「役に立つ喜び」を育てます。次年度も、続けて取り組んでいきます。

豊かな経験

14. 講師先生(英語・体操・お茶等)の協力を得て、より豊かな保育内容の実現を目指している

[A:100,B:18,C:0,D:1]



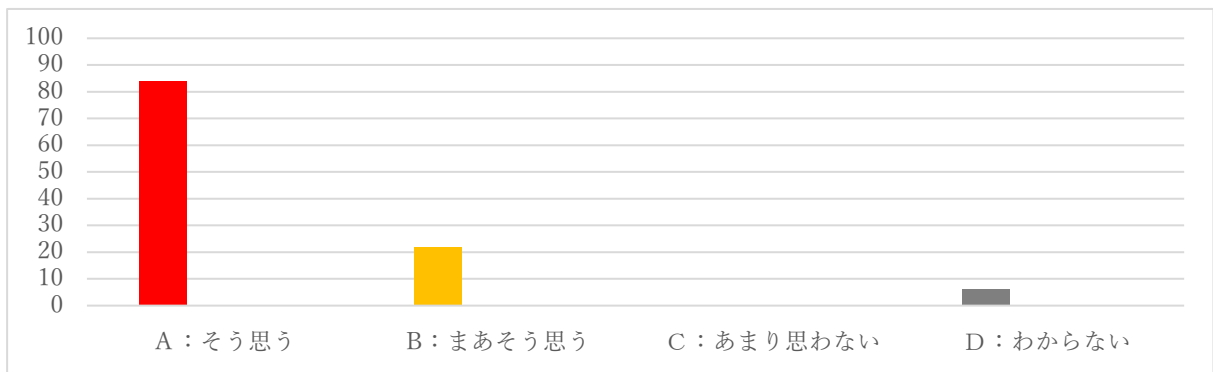
(次年度に向けて)

・今年度も昨年度に引き続き、月曜日の体操教室、月、火、木曜日の英語教室、5 歳児を対象にお茶教室、年 2 回の華道教室を開校したりしました。様々な専門の講師先生に来ていただき体験を積み重ねることは、子ども達の世界や可能性を広げ、広い視野で物事を捉えることへとつながっていきます。また、園のみでなく、様々な人に見守られながら過ごしているという意識を、持つことができるようになっていきます。次年度も、子ども達にとってどのような経験が必要であるかを精査しながら、取り組んでいきます。

幼小連携

15. 小学校とのつながりを意識した保育(遊びの準備や片づけ、自分の出来ることは自分です、話をしっかりと聞いて行動する、友達や先生と話をし活動をする等)を行っている(幼小連携)

[A:84,B:22,C:0,D:6]

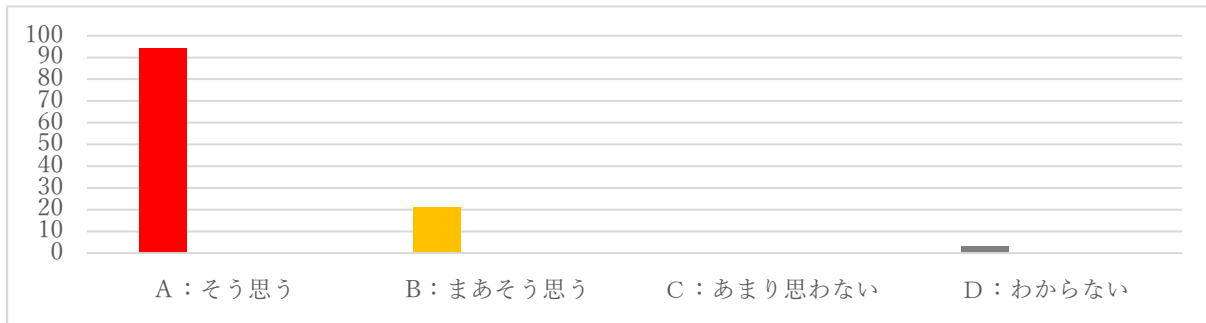


(次年度に向けて)

・対外的には、5 歳児を中心にした取り組みとなっています。全国的に小学校との接続連携を考え取り組んでいこうという動きがあります。本園におきましても、今年度より、小学校の先生に「出前授業」をしていただいたり、5 歳児が就学する小学校訪問をしたり、1 年生と交流をしたりしています。5 歳児の子ども達にとっては、「小学校へのあこがれ」や「小学生への親しみ」、「小学校生活への期待」等を抱く機会となります。次年度も、より充実した取り組みを考えていきます。

衛生管理

16. 感染症対策(学級閉鎖など適時必要な対応や日々の消毒等)に取り組んだり、安全で衛生的な環境作りに努めたりしている [A:94,B:21,C:0,D:3]

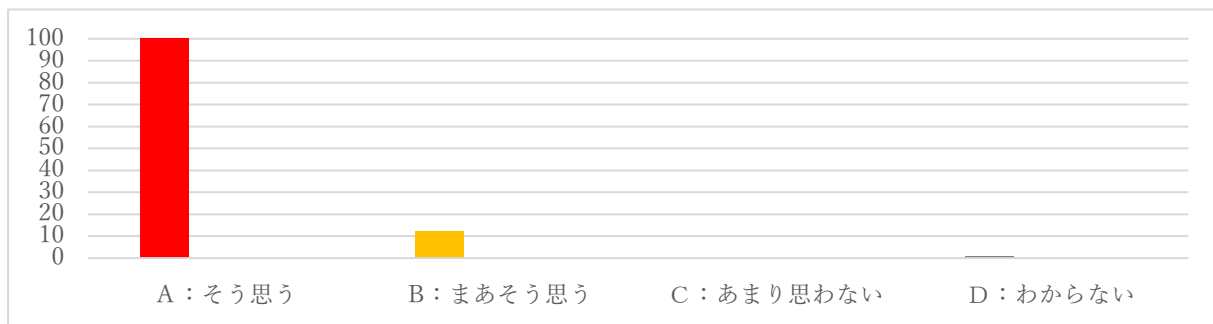


(次年度に向けて)

・昨年度に引き続き、1日の中で時間を決め、徹底的に消毒を行ったり、子ども達の遊びの様子に合わせて、随時おもちゃなどの消毒を行ったりしています。また、手指や食事の際に机、いす、床などにつきましても、使用前には必ず消毒を行っています。大切なお子様方が安心して過ごせる環境作りに、次年度も務めて参ります。

<今年度の取り組みについて>

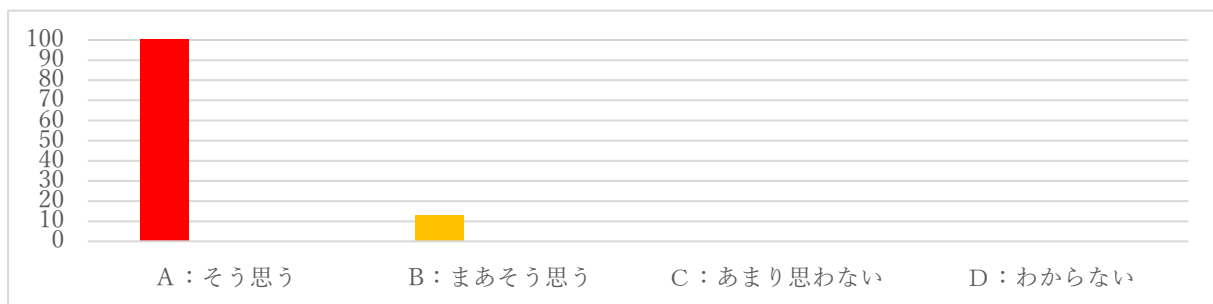
1. 課内などの参観:9月に実施した英語、体操、給食の参観 [A:104,B:12,C:0 無回答:1]



(次年度に向けて)

・保護者の皆様にお子様のいろいろな生活の姿を見ていただけるよう、次年度も実施しますので、よろしくお願い致します。

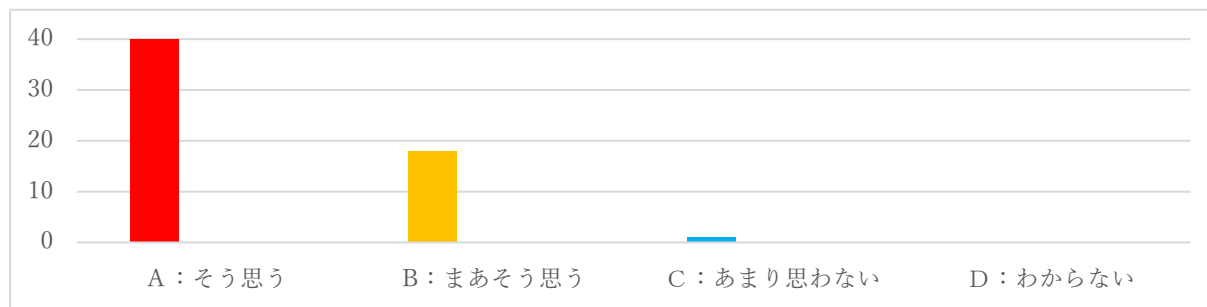
2. 作品展:親子製作・親子見学 [A:105,B:13,C:0,D:0]



(次年度に向けて)

・好きなおうちの方と一緒に制作をしたり、自分が頑張った作品と一緒に見て回ったりする経験は、子どもたちの大きな喜びとなり、自信ややる気へとつながっていきます。次年度も、計画をしていきたいと思っておりますので、是非お力をお貸しください。宜しくお願い致します。

3. お茶体験:保護者参加(5歳児の方のみの回答とする) [A:38,B:1,C:1,D:0]

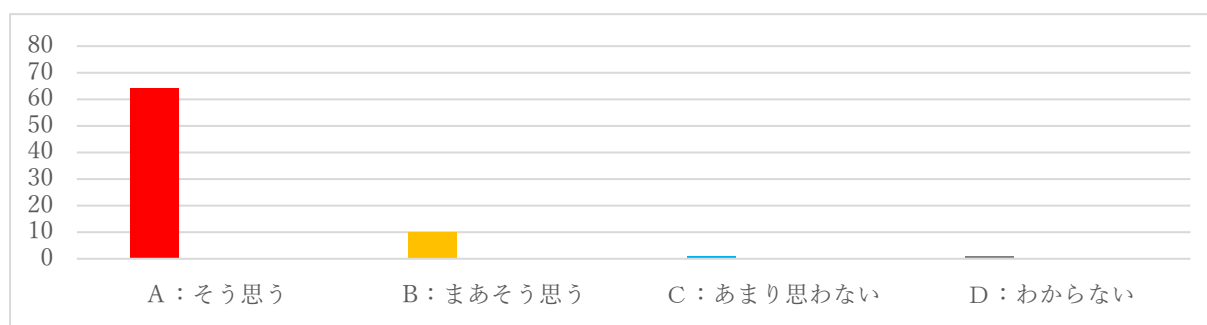


(次年度に向けて)

・日本の良き文化を語れる子どもを育てることを目標に、5歳児を対象「お茶体験」を実施しています。今年度は、飲むだけでなく自分でお茶を点て、保護者の皆様に飲んでいただきました。この活動の中で子どもたちからは、「今日もお茶ある」「楽しかった!」という声が聞かれました。5回という短い期間ではありますが、道具の名称や手順を覚え、自信満々にお点前をする姿が見られました。次年度も、続けていきます。

4. 親子参観:6月に実施した土曜参観(4・5歳児の方のみの回答とする)

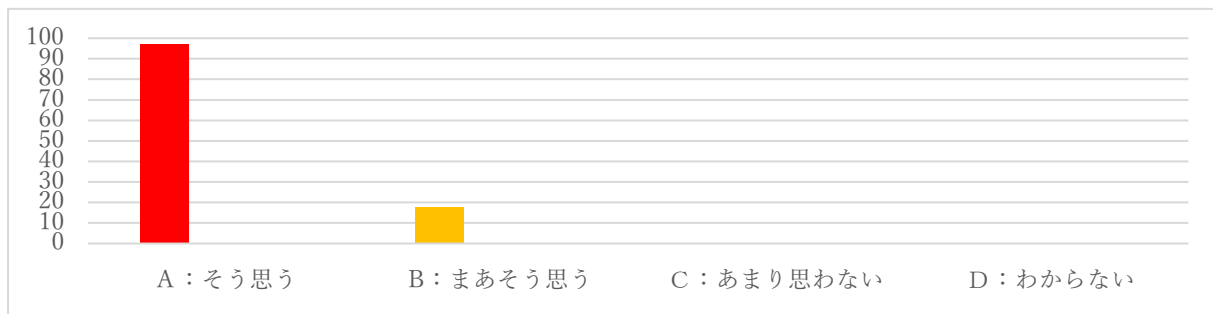
[A:64,B:10,C:1,D:1]



(次年度に向けて)

・土曜参観は、普段の平日には園になかなかこられない保護者の方々にも参加していただける、貴重な機会です。子どもたちの興味のあることや経験してほしいことを踏まえ、実りの多い機会となるよう計画していきます。宜しくお願い致します。

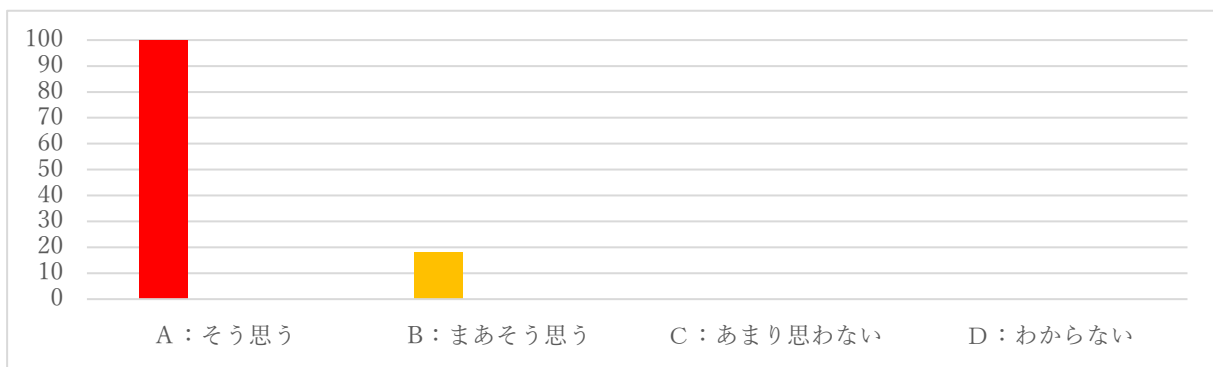
5. 運動会:保護者の見学人数を2人から4人までに増やす [A:97,B:18,C:0,D:0]



(次年度に向けて)

・コロナウイルス感染症が落ち着いたことを受け、今年度はより多くの方々にお子様の様子を見ていただけるように、観覧人数を増やしました。園庭の広さに限りはあるのですが、今後もより多くの皆様にご観覧いただけるよう、考えていきたいと思えます。

6. 音楽会:事前に行った保護者の席のくじびき [A:100,B:18,C:0,D:0]



(次年度に向けて)

・「事前に席が決まっていることで、慌てることなくスムーズに見ることができました」「席が決まっていることで、子どもの姿が見えなかった」などのお声をいただきました。また、運動会等においてはすべての競技のお子様の演技の位置を教えてほしいというご意見をいただきました。今年度は、あらかじめ決まっている5歳児の演技に関しては、なるべく近くから見ていただけるように配慮し、大体の位置をお知らせさせていただいていたのですが、3歳児及び4歳児は基本自由体系であり、なかなか詳細をお知らせすることが難しいという現状がありました。申し訳ありません。次年度はこのようなお意見を踏まえ、あらかじめ演技の位置が変わらず決まっている場合や大まかな位置が決まっている場合には、今年度同様に保護者の皆様と共有させていただきたいと思っています。何卒、ご理解の程よろしくお願ひいたします。